

熊日・RKK報道特別企画

# 熊本地震 それぞれの2年

## 「あの時 何が」そして今「空から」

ソラカラ  
SORA CARA



### 激震の体育館 住民守った判断

あの時 何が  
2018.1.4

熊本地震 145

突然、震度7の激震に見舞われた益城町は、ニックに陥っていた。一も二も現されません。早くアリーナを開放していただき！

### 益城町役場編①



余震の恐怖と寒さに震える住民たちが、次第に殺立っていた。安田の天井板や照明の天井板が破れ、ついに映った。ねた現場の職員たちが何度も助けを求める電話が寄せられ、あると感じた。「余震が続いています。アリーナに住民を入れるのは危険です。新たに住民を入れるのは危険です。新しい住民を入れるのは危険です。」

あの時 何が  
2016.10.24

熊本地震 1

### 南阿蘇からSOS 大学に千人孤立

巨大な揺れが県内を襲った。4月14日夜、マグニチュード(M)6.9の前震に始まり、熊本地震。16日未明にはM7.3の本震が襲来し、古里の景色や生活を一変させた。揺れと恐怖の中で何が起きたか、人々はどう行動したのか、被災地の「あの時」を記している。



南阿蘇からSOS 大学に千人孤立。被災地の現状と、住民の孤立状況を詳しく解説している。

あの夜から2年一。差こそあれ、だれもが被災者でした。だれもがそれぞれの居場所で必死に生きました。企業人として公務員としてボランティアとして一。あの瞬間から復旧までをそれぞれの居場所で追った、熊日の長期連載企画「あの時 何が」。一方、RKK「空から(原題「ソラカラ」)」は、被災地の空をドローンで飛び、復旧の今を見渡しています。これら2つのシリーズの、記事や写真、動画を紹介しながら、2年間の道のりをたどります一。

2018年 4月12日(木) ~ 5月31日(木)

10:00~17:00(最終入場16:30)

※日祝日休館(連休中、29・30日は開館します)

RKK(中央区山崎町)ロビーでも同時開催  
10:00~17:00 土・日・祝日休

▶▶ 入場無料 ◀◀

【主催】熊本日日新聞社、RKK熊本放送、新聞博物館  
【協力】長野良市さん、林真二さん

Kumanichi Newspaper Museum  
熊本日日新聞社  
新聞博物館





# あの時 何が



## 【展示内容】

### 熊日連載「あの時 何が」から記事や写真

赤十字飛行隊、グランメッセ熊本、FM791、熊本市動植物園、ローソン、お菓子の香梅、鶴屋百貨店、ロアツン熊本、熊本市市民病院、在熊外国人、健康サロン、熊本県災害対策本部、JVOAD火の国会議、熊本市上下水道局、サントリー熊本工場、八代市博物館、益城町役場

### 熊日記者が撮影した2年間の記録

熊本城、阿蘇、被災地…



ソラカラ  
SOLACARA

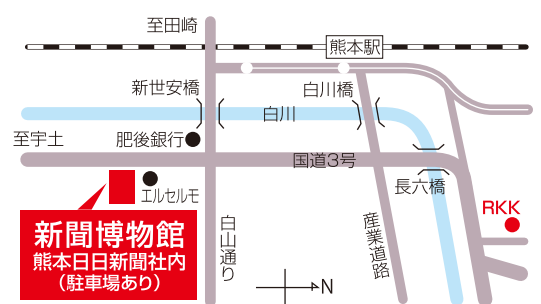
### RKK「空から(ソラカラ)」 ドローンによる撮影動画

益城町・西原村、南阿蘇村・南郷谷、熊本城

故郷を撮り続ける  
2氏の写真も



写真家 長野良市さん  
(南阿蘇村在住)



〒860-8506 熊本市中央区世安町172  
熊本日日新聞社2号館5階  
TEL. 096 (361) 3071

写真館経営 林真二さん  
(益城町在住)